

ふるさととキャリア教育 基本方針

地域において、生徒がふるさとの現状や歴史などに向き合うことで、その魅力や普遍的な価値に気づき、理解を深めていく。学校においては、地域の人々とともにを行う体験を通じて、地域社会の一員としての自覚を持たせ、社会性を育むとともに他者からの称賛や達成感により自己肯定感を育むとともに、共生の理念から地域課題等に自ら正対し、ふるさとへの社会貢献意欲も育む。

【ねらい】

地域の教育力を強みとして最大限に生かし、学校と地域が一体となった教育を展開しながら、ふるさとを愛する心豊かなたくましい生徒の育成を目指す。

【推進体制】 ※学校・家庭・地域の連携・協働による推進 ※小中連携の推進

- 学 校 教育課程に位置づけた指導 道徳・総合的な学習・特別活動・児童・会生徒会活動等
⇒生徒ボランティア等参加奨励（学年部 生徒会 部活動 etc）
- P T A 事業 企画・運営 物資等の支援 } 実行委員会結成
- 地区町会 事業 物資等の支援 }

◆道徳・総合的な学習等の深まり(発展性)を意識した取組 ～ 実践力の育成

◆旅行的行事と総合的な学習 【ふるさとと教育・キャリア教育関連】

- 1年 地元ふるさとを知る（企業見学・職場体験・自然体験等）
- 2年 隣接都市の企業見学・職業体験
- 3年 他地域の町おこしの取組を学び、ふるさとの活性化につなげる

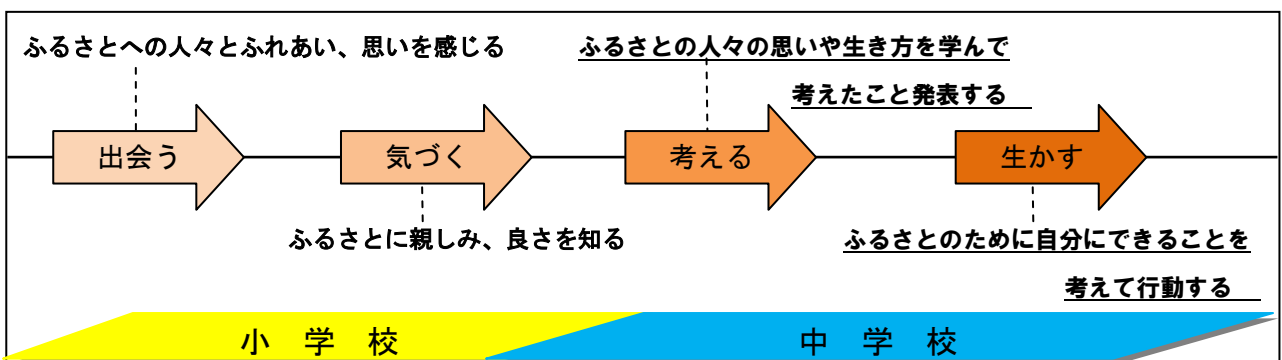
学校における取組【指導】

- 校区清掃活動（クリーン作戦）4月
- 旅行的行事の体験活動 6月
- 潮音頭踊り 7月
- 道徳 郷土の伝統文化の尊重、社会参画・公共の精神

地域における体験活動【実践】

- 5月 日実施 「花壇の苗植え」
- 7月28日実施 「潮祭り ねりこみ参加」
- 9月 日実施 「資源ゴミ収集参加」
- 2月 日実施 「雪あかりの路開催」

◆小学校と連携した学びの系統性・一貫性ある取組



学校教育

- ・ふるさとの愛着と誇りの醸成
- ・社会に貢献しようとする意欲の喚起

連携・協働

地域教育

- ・地域住民のふるさとへの理解促進
- ・地域を支える次世代の育成

家庭教育

- ・コミュニケーションとふれあいで家族愛の気づき
- ・地域への帰属感や連帯感の目覚め